docomo

ELUGA Live

P-08D

クイックスタートガイド　'12.8

詳しい操作説明は、P-08Dに搭載されている
「取扱説明書」アプリ(eトリセツ)をご覧ください。

はじめに

「P-08D」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前やご利用中に、この取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。

操作説明

P-08Dの操作は、以下の方法で説明しています。

■「クイックスタートガイド」（本書）

基本的な機能の操作について説明しています。

■[取扱説明書]（本端末のアプリケーション）

機能の詳しい案内や操作について説明しています。
ホーム画面▶◎▶[基本機能]▶[取扱説明書]

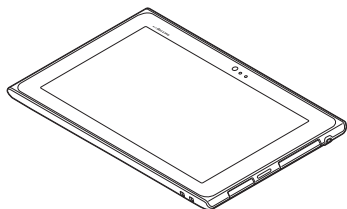
- ●はじめてご利用される際には、本アプリケーションをGoogle Playからインストールする必要があります。
- ●本アプリケーションをアンインストールした場合は、Google Playから「P-08D 取扱説明書」で検索して再インストールできます。

■「取扱説明書」（PDFファイル）

機能の詳しい案内や操作について説明しています。
ドコモのホームページでダウンロード
http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html
※ URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

- ●本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- ●本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- ●本書の操作説明は、ホームアプリを[docomo Palette UI]に設定した操作で説明しています。ホームアプリを変更した場合は、操作手順などが本書の説明と異なる場合があります。
- ●本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- ●本書では、操作手順のボタンを簡略したデザインで表現しています。

本体付属品

- P-08D本体（保証書付き）

- クイックスタートガイド

- ACアダプタ P01（保証書付き）

- 卓上ホルダ P50

目次

付録
74

本端末のご利用について

- 本端末は、W-CDMA・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本たっている状態で、移動せずに使用している場合でも通信が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末は、無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の送信内容と異なって受信される場合があります。
- 本端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、お客様の端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用になるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- 本端末はｉモードのサイト（番組）への接続、ｉアプリなどには対応しておりません。
- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリケーションのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- 本端末では、マナーモードに設定中でも、カメラのシャッター音やアラーム音は消音されません。
- ご利用の端末のソフトウェアバージョンについては☞P.73
- 本端末は、オペレーティングシステム（OS）のバージョンアップにより機能が追加されたり、操作方法が変更になったりすることがあります。機能の追加や操作方法の変更などに関する最新情報は、ドコモのホームページでご確認ください。
- OSをバージョンアップすると、古いバージョンのOSで使用していたアプリケーションが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。

- Googleが提供するサービスについては、Google Inc.の利用規約をお読みください。またその他のウェブサービスについては、それぞれの利用規約をお読みください。
- Googleアプリケーションおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- 紛失に備え、画面ロックを設定し、端末のセキュリティを確保してください（☞P.56）。
- 万が一紛失した場合は、Googleトーク、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスなどを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワードを変更してください。
- spモード、mopera UおよびビジネスmoperaインターネットQ以外のプロバイダはサポートしておりません。
- microSDカードを挿入しなくても本端末をお使いいただくことはできますが、ワンセグの番組録画など、microSDカードが挿入されていないとご利用いただけない機能がございます。
  このため、本端末をご利用になるときは、microSDカードを挿入することをおすすめします。
- テザリングのご利用にはspモードのご契約が必要です。
- テザリングを有効にした状態では、インターネット接続・メールサービス以外のspモードの機能をご利用になれません。
- テザリングを利用してインターネットに接続した場合、ご利用の環境によっては外部機器においてアプリケーション（ブラウジング・ゲームなど）が正常に動作しない場合があります。
- ご利用の料金プランにより、テザリングご利用時のパケット通信料が異なります。パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- ご利用時の料金など詳細については、
  http://www.nttdocomo.co.jp/をご覧ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

	危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合、および、物的損害の発生が想定される」内容です。

■次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁 止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。

	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は下記の6項目に分けて説明しています。

本端末、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモminiUIMカードの取り扱いについて＜共通＞

危険

	高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。 火災、やけど、けがの原因となります。
	電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。 火災、やけど、けが、感電の原因となります。
	分解、改造をしないでください。 火災、やけど、けが、感電の原因となります。
	水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。 火災、やけど、けが、感電の原因となります。 防水性能については下記をご参照ください。 ☞P.24「防水／防塵性能」

指 示

本端末に使用するアダプタは、NTTドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

警告

禁 止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁 止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁 止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどの原因となります。

指 示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
ガスに引火する恐れがあります。

指 示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。
- **電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。**
- **本端末の電源を切る。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

注意

禁 止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

禁 止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

本端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながらワンセグ視聴などを長時間行うと本端末やアダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

本端末の取り扱いについて

■ **本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。**

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池 （リチウムポリマー電池）

危険

火の中に投下しないでください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

内蔵電池内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

警告

禁止

本端末内のドコモminiUIMカードやmicroSDカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。

医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。

航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。

ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で本端末が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。

指示

通知音が鳴っているときなどは、必ず本端末を耳から離してください。

また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎると難聴の原因となります。

また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、通知音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。
ディスプレイ部の表面には保護フィルム、カメラのレンズの表面にはプラスチックパネルを使用し、ガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

指示

内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

注意

禁止

アンテナなどを持って本端末を振り回さないでください。
本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止

本端末が破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

モーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。

禁止

ディスプレイの表面には、落下や衝撃などにより破損した場合の安全性確保（強化ガラスパネルの飛散防止）を目的とする保護フィルムがあります。このフィルムは無理にはがしたり、傷つけたりしないでください。
フィルムをはがして使用した場合、ディスプレイが破損したときに、けがの原因となることがあります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった本端末は、ドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

指 示

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指 示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
各箇所の材質については☞P.15「材質一覧」

指 示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。
視力低下の原因となります。

指 示

内蔵電池内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

アダプタ、卓上ホルダの取り扱いについて

警告

禁 止

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁 止

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁 止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁 止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。
感電の原因となります。

禁 止

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁 止

アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁 止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコード、卓上ホルダ、コンセントに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指 示

指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指 示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
火災、やけど、感電の原因となります。
指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指 示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指 示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指 示

電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。

火災、やけど、感電の原因となります。

ドコモminiUIMカードの取り扱いについて

注意

指 示

ドコモminiUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。

けがの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

■**本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。**

警告

指 示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には本端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、本端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本端末の電源を切ってください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末は22cm以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

■P-08D

使用箇所		材質／表面処理
イヤホンマイク端子（樹脂部分）		PA
カード挿入口、外部接続端子収納部		ガラスエポキシ基板／ニッケルメッキ、金メッキ
カード挿入口カバー		PC、エラストマ、シリコンゴム／UV塗装
外装ケース	ディスプレイ側	ABS／UV塗装
	背面側	PC／UV塗装
	ボタン周囲	ABS／UV塗装
外部接続端子		ステンレス鋼／ニッケルメッキ、スズメッキ
外部接続端子カバー		PC、エラストマ、シリコンゴム／UV塗装
充電端子		黄銅／ニッケルパラジウムメッキ、金メッキ
ディスプレイパネル		ガラス、PET／ハードコート
ドコモminiUIMカード挿入口	金属部分	ステンレス鋼／ニッケルメッキ
	樹脂部分	LCP
バーコードシール		PET
ボタン		PC／UV塗装

使用箇所		材質／表面処理
ワンセグ／モバキャスアンテナ	金属部分	ニッケルチタン合金
	先端金属部分	黄銅／ニッケルメッキ
	先端樹脂部分	ABS／UV塗装
	根元樹脂部分	ABS／UV塗装
	根元ヒンジ部（ヒンジ部、ピン部）	ステンレス鋼／ニッケルメッキ
	ホルダ部	合金鋼／ニッケルメッキ
ワンセグ／モバキャスアンテナ収納部		PET
microSDカード挿入口	金属部分	ステンレス鋼／ニッケルメッキ
	樹脂部分	LCP

■ACアダプタ P01

使用箇所		材質／表面処理
コード		PVC
電源プラグ	金属部分	銅合金／ニッケルメッキ
	樹脂部分	PBT
ラベル		PET
ACアダプタ本体		PPE
microUSBプラグ	金属部分	ステンレス鋼
	樹脂部分	PVC

■卓上ホルダ P50

使用箇所		材質／表面処理
外装ケース		ABS
クッション		ウレタン
充電端子		りん青銅／ニッケルメッキ、金メッキ
製造番号シール		アート紙／PP
挿入表示シール、注意シール		ポリエステル／PET
ネジ		鉄／クロメート
ホルダ（端末挿入部両端）		エラストマ
レバー		POM
microUSBコネクタ	金属部分	ステンレス鋼
	樹脂部分	LCP

取り扱い上のご注意

共通のお願い

■P-08Dは防水／防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水や粉塵を浸入させたり、付属品、オプション品に水や粉塵を付着させたりしないでください。

アダプタ、卓上ホルダ、ドコモminiUIMカードは防水／防塵性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

■お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。

- 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
- ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

■端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。

端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

■エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。

急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■本端末などに無理な力がかからないように使用してください。

多くのものが詰まった荷物の中に入れたりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。
また、外部接続機器を外部接続端子やイヤホンマイク端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。

■ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。

傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

■オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

本端末についてのお願い

■ **タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。**

タッチパネルが破損する原因となります。

■ **極端な高温、低温は避けてください。**

温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。

■ **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**

■ **お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**

万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ **本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**

故障、破損の原因となります。

■ **外部接続端子やイヤホンマイク端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**

故障、破損の原因となります。

■ **使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**

■ **カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**

素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

■ **通常は外部接続端子カバーとカード挿入口カバーを閉じた状態でご使用ください。**

ほこり、水などが入り故障の原因となります。

■ **microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。**

データの消失、故障の原因となります。

■ **磁気カードなどを本端末に近づけないでください。**

キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

■ **本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。**

強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

■**内蔵電池は消耗品です。**

使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、本書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

■**充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**

■**内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。**

■**本端末を保管される場合は、次の点にご注意ください。**

- フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
- 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となります。
保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をお勧めします。

アダプタについてのお願い

■**充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**

■**次のような場所では、充電しないでください。**

- 湿気、ほこり、振動の多い場所
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く

■**充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**

■**DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。**

自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。

■**抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**

■**強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。**

故障の原因となります。

ドコモminiUIMカードについてのお願い

■**ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。**

■**他のICカードリーダー／ライターなどにドコモminiUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。**

■**IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。**

■**お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**

■ **お客様ご自身で、ドコモminiUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**

万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ **環境保全のため、不要になったドコモminiUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。**

■ **ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。**

データの消失、故障の原因となります。

■ **ドコモminiUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**

故障の原因となります。

■ **ドコモminiUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。**

故障の原因となります。

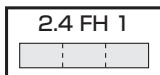
■ **ドコモminiUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けないでください。**

故障の原因となります。

Bluetooth機能を使用する場合のお願い

■ **本端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。**

■ **Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。**

■ **周波数帯について**
本端末のBluetooth機能が使用する周波数帯は次のとおりです。

2.4 ： 2400MHz帯を使用する無線設備を表します。

FH ： 変調方式がFH-SS方式であることを示します。

1 ： 想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。

： 2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。
ご利用の国によってはBluetoothの使用が制限されている場合があります。その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

■Bluetooth機器使用上の注意事項

本端末の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. **本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。**
2. **万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。**
3. **その他、ご不明な点につきましては、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。**

無線LAN（WLAN）についてのお願い

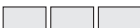
■無線LAN(WLAN)は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

■無線LANについて
電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

■周波数帯について

WLAN搭載機器が使用する周波数帯は次のとおりです。

2.4 DS/OF 4
▭▭▭

2.4　：　2400MHz帯を使用する無線設備を表します。

DS/OF　：　変調方式がDS-SS方式、OFDM方式であることを示します。

4　：　想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。

▭▭▭　：　2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャンネルは国により異なります。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。
ご利用の国によっては無線LANの使用が制限されている場合があります。
その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

■2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. **この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。**
2. **万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。**
3. **その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。**

注意

■ **改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。**

本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、詳細は本端末の以下の手順で確認できます。
ホーム画面▶ ▶[設定]▶[設定]▶[タブレット情報]▶[認証情報]
本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。
技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

■ **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**

運転中の携帯端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。

■ **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**

ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

■ **通信中は、本端末を身体から15mm以上離してご使用ください。**

防水／防塵性能

P-08Dは、外部接続端子カバーとカード挿入口カバーをしっかりと閉じた状態でIPX5※1、IPX7※2の防水性能、IP5X※3の防塵性能を有しています。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、通信端末としての機能を有することを意味します。

※2 IPX7とは、常温で水道水、かつ静水の水深1mの水槽にP-08Dを静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに通信端末としての機能を有することを意味します。

※3 IP5Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に通信端末を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに通信端末の機能を有し、かつ安全を維持することを意味します。

(注) 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。浸水や異物混入を防ぎ、安全にお使いいただくために、本書をよくお読みになってからご使用ください。

P-08Dが有する防水／防塵性能

■雨の中

- 雨の中で傘をささずに濡れた手で通信ができます。（1時間の雨量が20mm未満、地面からの跳ね返りで足元が濡れる程度）

※ 手が濡れているときや端末に水滴がついているときには、外部接続端子カバーやカード挿入口カバーの開閉は行わないでください。

■洗う

- 端末が汚れた場合は、洗面器などに張った真水・常温の水道水につけて静かに振り洗いをしたり、蛇口から弱めに流れる水道水に当てながら手で洗ったりすることができます。
- 外部接続端子カバーとカード挿入口カバーを押さえたまま洗ってください。

石けん·洗剤

- 洗うときは、ブラシやスポンジ、石けん、洗剤などを使用しないでください。
- 洗い流したあとは表面を乾いた布でよく拭いて、水抜き（☞P.30）を行ったのち、自然乾燥させてください。

■レジャー

- プールの水や海水に浸けたり、落下させたりしないでください。また、水中で使用しないでください。
- プールの水や海水がかかった場合は所定の方法（☞P.25）で洗ってください。

海水·プール

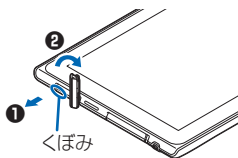
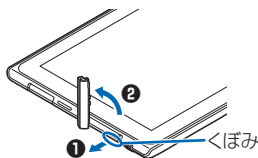
■キッチン

- 常温の真水や水道水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。
- お湯や冷水をかけたり、浸けたりしないでください。

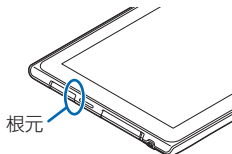
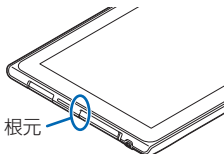
ご使用にあたっての重要事項

- ご使用前に、外部接続端子カバーとカード挿入口カバーをしっかりと閉じてください。微細なゴミ（微細な繊維、髪の毛、砂など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。外部接続端子カバーやカード挿入口カバーを閉じるときは、カバー周辺（特にパッキン）にゴミや汚れが付着していないことを確認してください。
- 外部接続端子カバーとカード挿入口カバーが浮いていないようにしっかりと閉じていることを確認してください。確実に閉じていないと浸水の恐れがあります。
- 防水／防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

外部接続端子カバー／カード挿入口カバーを開ける

1 **くぼみに指先をかけて❶の方向に引っ張り出したあと、❷の方向へ回転させる**

<外部接続端子カバー>

<カード挿入口カバー>

外部接続端子カバー／カード挿入口カバーを閉じる

1 **端末と平行に揃えて外部接続端子カバー／カード挿入口カバーの根元部分をしっかり押さえながら押し込む**

<外部接続端子カバー>　<カード挿入口カバー>

2 **外部接続端子カバー／カード挿入口カバー全体に浮きがないことを確認する**

注意事項

■端末について

- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
- 濡れている状態で絶対に充電しないでください。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。
  ・外部接続端子やイヤホンマイク端子がショートする恐れがあります。
  ・ボタンなどの隙間から水分が入り込む場合があります。また、寒冷地では、端末に水滴が付着していると、凍結し故障の原因となります。

  水で濡れた場合は、外部接続端子カバーとカード挿入口カバーを閉じたまま水抜き（☞P.30）を行い、端末から出た水分を乾いたきれいな布で直ちに拭き取ってください。
- 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。破損により防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- お湯に浸けたり、サウナで使用したり、ドライヤーなどの温風を当てたりしないでください。
- 本端末は水に浮きません。
- 規定以上の強い水流に当てたり、水中に沈めたりしないでください。
- 砂浜などの上に直接置かないでください。
  ・マイク、スピーカーの穴などに水滴や砂などが入り、音が小さくなったり音が割れたりする恐れがあります。
  ・ボタンなどの隙間に砂などがわずかでも挟まると、操作性を損なう恐れがあります。
  ・外部接続端子カバー、カード挿入口カバーに砂などがわずかでも挟まると浸水の原因となります。

  砂などが付着した場合はボタン操作をせず、所定の方法（☞P.25）で洗ってください。

■外部接続端子カバー・カード挿入口カバーについて

- 手袋などをしたまま開閉しないでください。パッキンの接着面に微細なゴミが付着する場合があります。
- 乾いたきれいな布で水分を拭き取る際は、パッキンに繊維が付着しないようにご注意ください。
- パッキンをはがさないでください。また、外部接続端子カバーやカード挿入口カバーの隙間に先の尖ったものを差し込まないでください。パッキンが傷つき、浸水の原因となります。
- 外部接続端子カバーやカード挿入口カバーのパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口にてお取り替えください。
- 外部接続端子カバーやカード挿入口カバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、ドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。

■マイク、スピーカーについて

- マイク、スピーカーの穴を尖ったものでつつかないでください。
- 水滴を残さないでください。動作不良となる恐れがあります。

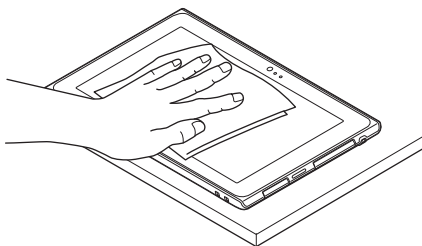
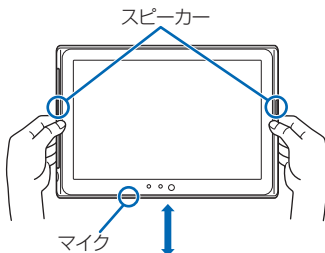
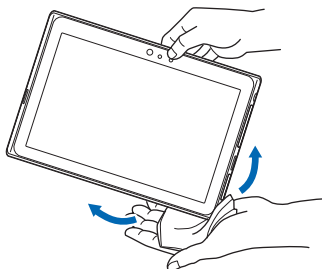
■その他

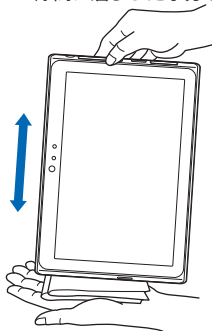
- 付属品、オプション品は防水／防塵性能を有しておりません。風呂場、シャワー室、キッチン、洗面所などの水周りでは使用しないでください。
- 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

水に濡れたときの水抜きについて

- 端末に水滴が付着したままご使用になると、スピーカーなどの音量が小さくなったり、音質が変化する場合があります。
- ボタンなどの隙間から水分が入り込んでいる場合があります。

下記の手順で端末の水分を取り除いてください。

1 **端末を安定した台などに置き、ディスプレイ面と背面の水分を乾いたきれいな布でよく拭き取る**

2 **端末を両手でしっかり持ち、マイクを下に向けて10回程度、水滴が飛ばなくなるまで振る**
その後、スピーカーがある各側面を下に向けて、同様に各10回程度、水滴が飛ばなくなるまで振る

3 **乾いたきれいな布に端末の四隅を振るように押し当て（各10回程度）、外周部の隙間に溜まった水分を拭き取る**

4 **乾いたきれいな布に端末の四辺を振るように押し当て（各10回程度）、マイク、ボタン、スピーカー、イヤホンマイク端子、充電端子などの隙間に溜まった水分を拭き取る**

- 隙間に溜まった水分を綿棒などで直接拭き取らないでください。

5 外部接続端子カバー／カード挿入口カバーを開け、乾いたきれいな布でカバー自体の隙間（凹み）に溜まった水分を拭き取る

- 外部接続端子カバー／カード挿入口カバーの開けかたについては☞P.26
- カバーは片方ずつ開けてください。一方のカバーの水分を拭き取り、カバーを閉めてから、もう片方のカバーを開けてください。
- 隙間に溜まった水分が端末内部に入らないようにご注意ください。

6 十分に水分を取り除いてからご使用ください

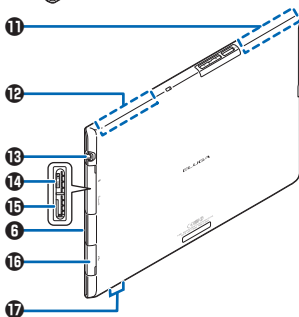
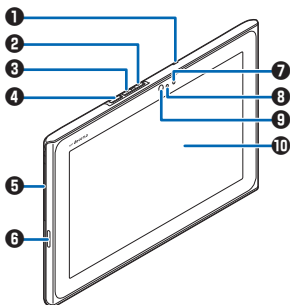
- 上記の手順を行っても、端末に水分が残っている場合がありますので、しばらく自然乾燥させてからご使用ください。また、水が染み出ることがありますので濡れては困るものをそばに置かないようにご注意ください。

充電のときには

付属品、オプション品は防水／防塵性能を有しておりません。充電時、および充電後には次の点を確認してください。

- 端末が濡れた状態では絶対に充電しないでください。端末が濡れたときはよく水抜きをして乾いたきれいな布で拭き取ってから充電してください。
- 外部接続端子カバーを開けて充電した場合には、充電後はしっかりと外部接続端子カバーを閉じてください。外部接続端子からの水や粉塵の侵入を防ぐため、付属の卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします。
- 濡れた手でACアダプタ、卓上ホルダに触れないでください。
- ACアダプタ、卓上ホルダは、風呂場、シャワー室、キッチン、洗面所などの水周りで使用しないでください。

ご使用前の確認

各部の名称と機能

❶ マイク
❷ 音量大ボタン
❸ 音量小ボタン
❹ 電源ボタン
電源をON／OFFします（☞P.41）。
❺ ワンセグ／モバキャスアンテナ
❻ スピーカー
❼ 通知／充電ランプ
spモードメールの着信時などに点滅します。充電中に点灯します。
❽ 光センサー
周囲の明るさを検知して、画面の明るさを自動調節します。
❾ カメラ
❿ ディスプレイ（タッチパネル）
⓫ FOMAアンテナ※1
⓬ Wi-Fi／Bluetooth／GPSアンテナ※1
⓭ イヤホンマイク端子
⓮ ドコモminiUIMカード挿入口
⓯ microSDカード挿入口
⓰ 外部接続端子
⓱ 充電端子

※1 アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

ドコモminiUIMカード

ドコモminiUIMカードは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。ドコモminiUIMカードが取り付けられていないと、本端末でメールの送受信やデータ通信、モバキャスなどを利用できません。

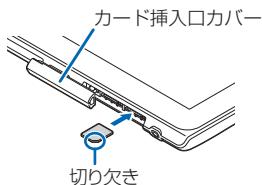
- 本端末では、ドコモminiUIMカードのみご利用できます。ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- ドコモminiUIMカードについて詳しくは、ドコモminiUIMカードの取扱説明書をご覧ください。

ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外し

- ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外しは、端末の電源を切ってから行ってください。
- ドコモminiUIMカードを取り扱うときは、IC部分に触れたり、傷つけないようにご注意ください。また、ドコモminiUIMカードを無理に取り付けたり取り外そうとすると、ドコモminiUIMカードが壊れることがありますのでご注意ください。

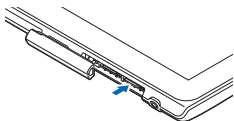
ドコモminiUIMカードを取り付ける

1 金色のIC面を下にして、イラストの向きでドコモminiUIMカード挿入口にロックするまで差し込む

- カード挿入口カバーの開けかたについては☞P.26
- 「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。

ドコモminiUIMカードを取り外す

- ドコモminiUIMカードを取り外すとき、ドコモminiUIMカードが端末から飛び出す場合がありますのでご注意ください。

1 **ドコモminiUIMカードを軽く押し込む**

ドコモminiUIMカードが少し出ます。

2 **ドコモminiUIMカードをまっすぐ引き出す**

microSDカード

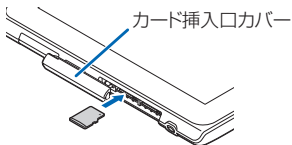
- 本端末は、2GBまでのmicroSDカードと32GBまでのmicroSDHCカードに対応しています（2012年7月現在）。
  microSDカードの製造メーカーや容量など、最新の動作確認情報については下記のサイトをご覧ください。掲載されているmicroSDカード以外については、各microSDカードの製造メーカーへお問い合わせください。
  http://panasonic.jp/mobile/
  なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

microSDカードの取り付け／取り外し

- microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。データの消失、故障の原因となります。

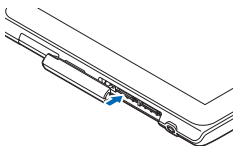
microSDカードを取り付ける

1 金属端子面を下にして、イラストの向きでmicroSDカード挿入口にロックするまで差し込む

- カード挿入口カバーの開けかたについては☞P.26
- 「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。

microSDカードを取り外す

- microSDカードを取り外すとき、microSDカードが端末から飛び出す場合がありますのでご注意ください。

1 **microSDカードを軽く押し込む**

microSDカードが少し出ます。

2 **microSDカードをまっすぐ引き出す**

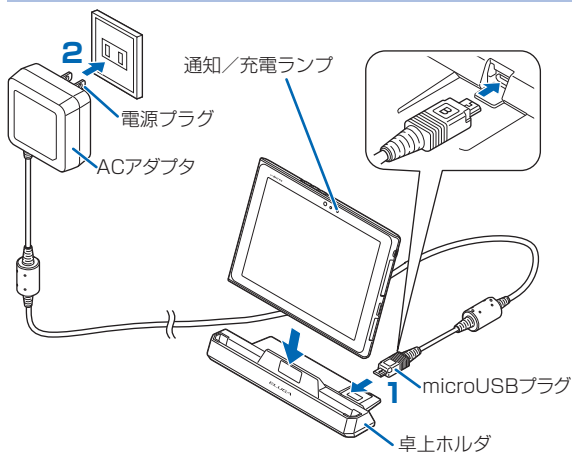
充電

■ **充電時のご注意**

- 付属のACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。海外で利用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- 電池切れの状態で充電を開始した場合、電源を入れてもすぐに起動しないことがあります。その場合は、端末の電源を切ったまま充電し、しばらくしてから電源を入れてください。
- 充電したまま端末を長時間おくと、充電を繰り返すことがあります。また、充電が終わったあと端末は内蔵電池から電源が供給されるようになるため、実際に使うと短い時間しか使えず、すぐに電池切れの警告が表示されてしまうことがあります。このようなときは、再度正しい方法で充電を開始してください。再充電の際は、端末を一度ACアダプタ、DCアダプタ、卓上ホルダから外して再度セットし直してください。
- 充電中にモバキャスを視聴したり、コンテンツの受信などを行う場合は、端末をACアダプタ（DCアダプタ）の電源プラグ部からなるべく離してご使用ください。
- 充電時の視聴中にワンセグ／モバキャスアンテナの向きを変えたり、場所を移動したりすることで受信状態が良くなることがあります。
- 充電中にモバキャスなどを視聴すると充電が停止する場合があります。その場合は、モバキャスなどの視聴を停止してから再度充電を行ってください。

■ **内蔵電池の寿命について**

- 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、内蔵電池の寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。

卓上ホルダ P50を使って充電する

1 **付属のACアダプタのmicroUSBプラグを、刻印面を上にして卓上ホルダ裏側の端子に水平に差し込む**

2 **ACアダプタの電源プラグを起こし、家庭用などのAC100Vのコンセントへ差し込む**

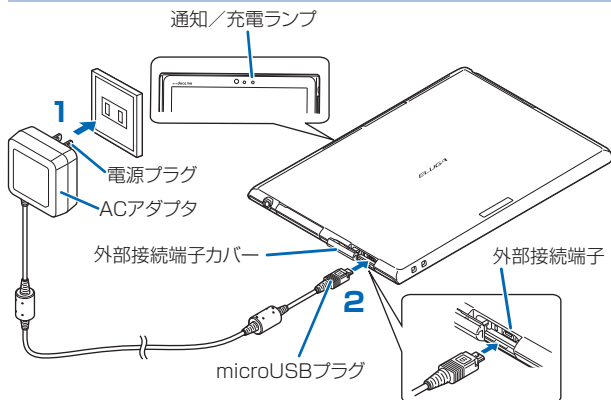
3 **端末を卓上ホルダに差し込む**

通知／充電ランプが赤く点灯したことを確認してください。

4 **充電が完了したら、端末を卓上ホルダから取り外す**

5 **ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く**

6 **microUSBプラグを卓上ホルダの端子から水平に抜く**

ACアダプタ P01を使って充電する

1 **付属のACアダプタの電源プラグを起こし、家庭用などのAC100Vのコンセントへ差し込む**

2 **ACアダプタのmicroUSBプラグを、刻印面を上にして外部接続端子に水平に差し込む**

通知／充電ランプが赤く点灯したことを確認してください。

- 外部接続端子カバーの開けかたについては☞P.26

3 **充電が完了したら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く**

4 **microUSBプラグを端末から水平に抜く**

■充電中・充電完了時の表示について

	通知／充電ランプ	電池アイコン
充電中	赤色で点灯	～
充電完了	消灯	

- 端末の電源を切っているときは、電池アイコンは表示されません。
  電池が切れた状態で充電を開始すると、通知／充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、充電自体は開始されています。もし、充電開始後に通知／充電ランプが長時間点灯しない場合は、端末を一度ACアダプタから外して、再度充電をやり直してください。再び同じ動作をする場合はACアダプタや内蔵電池の異常や故障が考えられますので、ドコモショップなど窓口までご相談ください。

ACアダプタ 03やDCアダプタ 03を使って充電する

ACアダプタ 03（別売）は、家庭用などのコンセント（100V～240V）から充電するための電源を供給するアダプタです。DCアダプタ 03（別売）は、自動車のシガーライターソケット（12V／24V）から充電するための電源を供給するアダプタです。
ACアダプタやDCアダプタのmicroUSBプラグを外部接続端子に差し込んで充電します。

- 外部接続端子カバーの開けかたについては☞P.26
- 詳しくはACアダプタ 03、DCアダプタ 03の取扱説明書をご覧ください。

パソコンを使って充電する

本端末とパソコンをmicroUSB接続ケーブル 01（別売）で接続すると、本端末をパソコンから充電することができます。

電源を入れる／切る

■電源を入れる

1 Ⓟを2秒以上押す

しばらくすると、ロック画面が表示されます。

■電源を切る

1 ⏻を1秒以上押す

- ⏻を10秒以上押すと、強制的に電源が切れます。

2 [OK]

- 電源を切る際に時間がかかる場合がありますが、そのまましばらくお待ちください。

ディスプレイの表示が消えたら

本端末を一定時間操作しなかったときは、自動的にディスプレイの表示が消えてスリープモードになります。

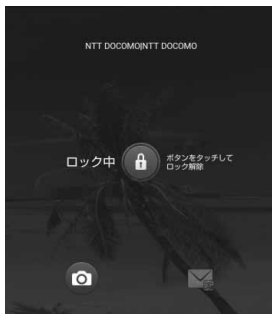
1 ⏻を押す

スリープモードが解除され、ロック画面が表示されます。

- 手動でスリープモードにする場合は、ディスプレイ表示中に⏻を押します。

ロック画面を解除する

1 🔒をタップ

- [画面のロック]を設定している場合は、設定した解除方法を行います。
- [画面のロック]を[タッチ]に設定している場合は、通知パネルを開くことができます。
- 📷をタップするとカメラを起動できます。

ロック画面

基本操作

タッチパネルの操作

本端末のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

- お買い上げ時にタッチパネルに貼られているシートをはがしてからお使いください。
- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先の尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
- 以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  ・手袋をしたままでの操作
  ・爪の先での操作
  ・異物を操作面に乗せたままでの操作
  ・保護シートやシールなどを貼っての操作
  ・タッチパネルが濡れたままでの操作
  ・指が汗や水などで濡れた状態での操作

■タップする

画面の項目やアイコンをトンとたたいて選択します。

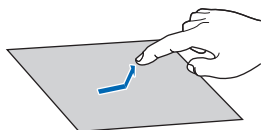
■ダブルタップする

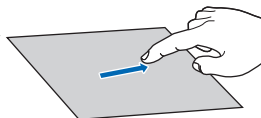
ウェブページを拡大したいときにすばやく2回続けてタップします。再度ダブルタップすると縮小します。

■ロングタッチする

画面の項目やアイコンを指で押さえたままにします。ポップアップメニューなどを表示する場合に使います。

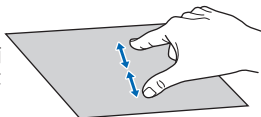
■フリックする

複数のページやデータがあるときに画面を左右にすばやくはらうように触れると、前後の画面に切り替わります。

■ドラッグする

画面の項目やアイコンを指で押さえながら移動します。

■スクロールする

画面を上下左右方向にフリック／ドラッグして、隠れている部分を表示します。

■ピンチする（広げる・狭める）

ウェブページや静止画などの表示中に、画面を2本の指で広げる（ピンチアウト）と拡大し、つまむ（ピンチイン）と縮小します。

縦／横画面表示を切り替える

端末の向きや動きを検知するモーションセンサーによって、端末を縦または横に持ち替えて、画面表示を切り替えることができます。

お知らせ

- 端末を垂直に近い状態で操作してください。水平に寝かせると向きや動きの変化を正しく検知できず、画面表示が切り替わらない場合があります。
- 表示中の画面によっては、端末の向きを変えても画面表示が切り替わらない場合があります。

スクリーンショットを撮影する

表示中の画面を撮影し、撮影したスクリーンショットを保存します。

1 と（音量小）を同時に1秒以上押す

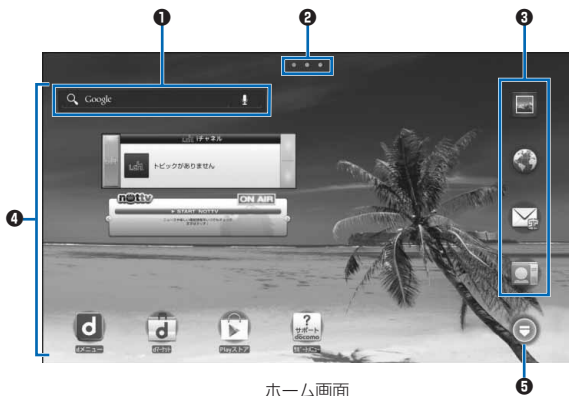
シャッター音が鳴り、スクリーンショットを撮影します。
ステータスバーに通知アイコンが表示され、撮影したスクリーンショットが本端末のメモリに保存されます。

- 通知パネルを開いて通知をタップすると、撮影したスクリーンショットを表示できます。

お知らせ

- 著作権で保護されたコンテンツの再生中にスクリーンショットを撮影すると、コンテンツの画像部分が撮影できない場合があります。

ホーム画面

ホーム画面はアプリケーションを使用するためのスタート画面で、をタップすると表示されます。
ホームアプリには、docomo Palette UI、ランチャーの2種類があります。ここではdocomo Palette UIの操作を説明します。

ホーム画面

❶ クイック検索ボックス
端末内のアプリやウェブページを検索できます。

❷ インジケーター
ホーム画面の現在位置が表示されます。最大12シート（パーソナルエリア含む）まで表示され、画面を左右にフリックして切り替えられます。[パーソナルエリア]シートでは契約内容などを確認できます。

❸ ドック
すべてのシートに表示され、ショートカット、フォルダ、グループを配置できます。

❹ ショートカット、ウィジェット、フォルダ、グループを自由に配置できます。

❺ すべてのシートに表示され、アプリケーション一覧画面を表示します。

- 背景部分をロングタッチ▶[ホーム画面一覧]▶[＋]をタップすると、ホーム画面を追加できます。追加したホーム画面を削除するには、[×]をタップするか、ホーム画面のサムネイルをロングタッチして[削除]をタップします。

お知らせ

- ホームアプリは、ホーム画面▶︎Ⓞ▶︎[設定]▶︎[ホーム切替]で別の種類に変更できます。
- ホームアプリを別の種類に変更した場合、ホーム画面のレイアウトによっては、画面上のウィジェットなどが正しく表示されない場合があります。

■New!アイコンについて

新規に購入（ダウンロード）したアプリケーションには、ホーム画面やアプリケーション一覧画面で（New!アイコン）が表示されます。

ホーム画面にショートカットなどを追加する

1 **ホーム画面▶︎背景部分をロングタッチ**

2 **[ショートカット]／[ウィジェット]／[フォルダ]／[グループ]**

- [きせかえ]／[壁紙]をタップすると、ホーム画面のデザインや壁紙を変更できます。

3 **追加したいショートカットなどを選択**

- ショートカットやウィジェットなどをロングタッチすると、そのままドラッグして移動したり、にドラッグして削除したりできます。

操作アイコン

画面下部のステータスバーの左側に操作アイコンが表示されます。

ステータスバー

❶ 直前の画面に戻ります。

❷ ホーム画面に戻ります（☞P.45）。

❸ 最近使用したアプリケーションのリストを表示します。
アプリケーションを起動するにはサムネイルをタップします。リストからアプリケーションを削除するにはサムネイルを左右にフリックします。

- 使用中のアプリケーションにより、操作アイコンをしばらく使用しないでいると操作アイコンが小さい点に変わることがあります。表示を元に戻すにはステータスバーをタップします。

通知アイコン／ステータスアイコン

画面下部のステータスバーの右側には端末の状態を示すアイコンが表示されます。時刻の左に通知アイコン、右にステータスアイコンが表示されます。

■主な通知アイコン

アイコン	説明	参照先
（緑色）	音質調整ON	P.49
（グレー）	音質調整OFF	P.49
	新着Gmail	P.68
	新着Eメール	P.68
	新着spモードメール	P.67
	新着メッセージ（SMS）	P.67
	メッセージ（SMS）の送信失敗	P.67
	新着インスタントメッセージ	−
	カレンダーの予定	−
	時計のアラーム（スヌーズ）設定中	−
	楽曲再生中	−
	Wi-Fiのオープンネットワークが利用可能	P.63
	Bluetooth通信でファイル着信	−
	VPN接続中	−
	USB接続中	P.41
	USBテザリング利用中	P.64
	Wi-Fiテザリング利用中／Wi-Fi Direct利用中	P.64
	USBテザリングとWi-Fiテザリング利用中	P.64 P.64
	GPS測位中	−
	エラーメッセージ	−
	本体の空き容量低下／空き容量なし	−
	データのアップロード	−
	データのダウンロード	−

アイコン	説明	参照先
	Google Playなどからのアプリケーションがインストール完了	P.52
	Google Playのアプリケーションがアップデート可能	P.52
	スクリーンショットの保存	P.44
	モバキャスコンテンツの蓄積完了	－
	モバキャス音声コンテンツをバックグラウンド再生中	－
	モバキャス電波状態	－
	ワンセグ通知	－
	データ放送のセキュリティ保護ページに接続中	－
	おまかせロック設定中	－
	ecoモード中	－
	Psmartの更新通知あり	－
	外からDIGA接続の接続中	－
	外からDIGA接続の切断時	－
	温度異常	P.75
	充電異常	P.75

■主なステータスアイコン

アイコン	説明	参照先
	電波状態	－
	ローミング中	－
	圏外	－
	3G（パケット）使用可能	－
	3G（パケット）通信中	－
	機内モード	P.72
	Wi-Fi接続中	P.63
（グレー）	Bluetooth機能ON	－
（青色）	Bluetooth機器接続中	－
	ドコモminiUIMカード未挿入	P.34
	マナーモード	P.72
	要充電	P.38
	電池残量が少ない	P.38
	電池残量十分	P.41

アイコン	説明	参照先
	充電中	P.41

通知パネル／設定パネル

通知パネルを開く

通知アイコンが表示されたら、通知パネルを開いてメッセージや予定などの通知を確認できます。

1 ステータスバーの時刻をタップ

通知パネルが表示されます。

- 通知パネルを閉じるには、パネル以外の場所をタップします。

❶ 日時とステータスアイコンの詳細が表示されます。

❷ 通知パネル
通知をタップすると、詳細を確認したり必要な設定を行ったりすることができます。

❸ 設定パネル表示アイコン
このアイコンのときに❶をタップすると、設定パネルが表示されます。

❹ 音質調整エリア
：音質調整のON／OFFを切り替えます。
：音楽に適した音質に調整します。
：動画に適した音質に調整します。
／：低音／高音域の強調レベルを1（最小）～5（最大）の間で調整します。
※ホーム画面▶▶[設定]▶[設定]▶[音]▶[サラウンド]で操作すると、設定が連動して切り替わります。

❺ 通知を消去します。通知内容によっては消去できません。

設定パネルを開く

設定パネルを開いて設定メニューを表示したり、各種設定を変更したりできます。

1 ステータスバーの時刻をタップ▶

設定パネルが表示されます。

- 設定パネルを閉じるには、パネル以外の場所をタップします。

❶ 日時とステータスアイコンの詳細が表示されます。

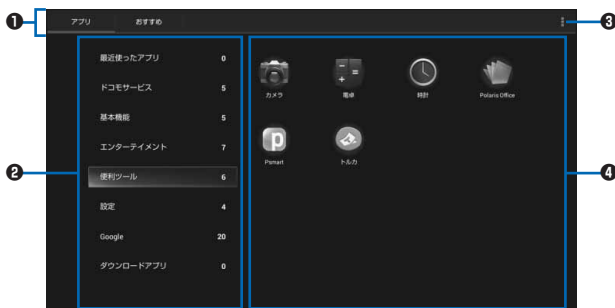
❷ 通知パネル表示アイコン
このアイコンのときに❶をタップすると、通知パネルが表示されます。

❸ 設定パネル
機内モード：機内モードのON／OFFを切り替えます（☞P.72）。
Wi-Fi：Wi-Fi機能のON／OFFを切り替えます。[Wi-Fi]をタップすると、Wi-Fi設定画面が表示されます（☞P.63）。
自動回転画面：画面の自動回転のON／OFFを切り替えます。
：画面の明るさを変更します。[オート]を選択すると、明るさを自動調整します。
通知：通知アイコンのON／OFFを切り替えます。
設定：設定メニューを表示します（☞P.72）。
マナーモード：マナーモードのON／OFFを切り替えます（☞P.72）。
ECO エコナビ：エコナビを起動します。

アプリケーション画面

アプリケーション一覧画面を表示する

アプリケーション一覧画面では、インストールされているアプリケーションがグループ別に表示されます。

1 ホーム画面▶

アプリケーション一覧画面

❶ [アプリ]タブ／[おすすめ]タブを切り替えます。

❷ グループ名とアプリケーション数
タップしてグループを切り替えます。

- ▶[グループ追加]をタップすると、グループを追加できます。グループを編集／削除するには、グループをロングタッチします。

❸ ホームアプリのオプションメニューを表示します。

❹ 各グループのアプリケーション一覧を表示します。

- アプリケーションをロングタッチすると、[ホームへ追加]をタップしてショートカットをホーム画面に追加したり、[アンインストール]をタップしてアンインストールしたりできます。また、ロングタッチしたままドラッグして移動することもできます。

Google Play

Google Playで便利なアプリケーションや楽しいゲームを検索して、本端末にインストールすることができます。

- あらかじめGoogleアカウント（☞P.58）を設定してください。

1 ホーム画面▶◎▶[Google]▶[Playストア]

- 初回起動時は利用規約を読み、[同意する]をタップします。

2 アプリケーションを検索してインストール

- 多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリケーションをインストールするときは、特にご注意ください。アプリケーションをインストールすると、アプリケーションの使用に関する責任を負うことになります。
- 有料アプリケーションの支払いにはGoogle ウォレットを利用できます。アプリケーションのダウンロード後、規定の時間以内であれば、返品して全額払い戻しを受けることができます（各アプリケーションにつき1回のみ）。アプリケーション購入時の支払い方法や返金要求の規定などについて詳しくは、Google Playの画面で⋮▶[ヘルプ]▶[Androidアプリ]▶[アプリケーションの購入]をご覧ください。

お知らせ

- アプリケーションのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染やデータの破壊などが起きる場合があります。また、音量が変わる場合がありますのでご注意ください。
- 万が一、お客様がインストールしたアプリケーションなどにより動作不良が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。この場合、保証期間内であっても有料修理となります。
- お客様がインストールしたアプリケーションなどにより、お客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- アプリケーションによってはインターネットに接続し、自動で通信を行うものがあります。パケット通信料金が高額になる場合がありますのでご注意ください。
- Google Playからのアプリケーションの購入および返金などについては、当社では一切対応できかねますのであらかじめご了承ください。

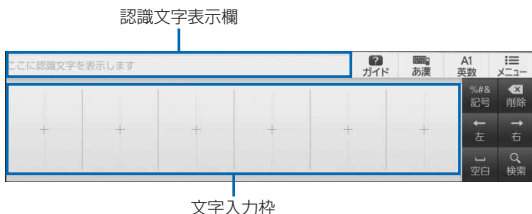
文字入力

手書きで文字を入力する

1 文字入力欄をタップ

キーパッドが表示されます。

- 初回起動時はクイック手書きのガイドが表示されます。ガイドを確認したら、[ガイドを閉じる]をタップします。次回以降の起動時にガイドを表示したくない場合は、[次回起動時は表示しない]にチェックを付けてから、[ガイドを閉じる]をタップします。

2 文字入力枠に手書きで入力

- 文字入力枠に手書きで文字を入力すると、認識された文字と予測変換候補が表示されます。
- 認識文字表示欄に表示された認識文字をタップして訂正できます。
- 文字入力枠をピンチアウト／ピンチインすると、横画面表示の場合は枠を1マス／2マス／6マス／7マス、縦画面表示の場合は枠を1マス／2マス／8マス／10マスに切り替えます。
- 削除をタップすると、カーソルの左側にある文字が削除されます。
- あ漢をタップすると、キーボードで日本語を入力できます（☞P.54）。
- A1英数をタップすると、キーボードで半角の英数字と記号を直接入力できます。
- %#&記号をタップすると、絵文字D／絵文字／記号／顔文字を入力できます。文字入力欄によって入力できる文字種が異なります。
- キーパッドを閉じるにはをタップします。

しゃべってキー入力で入力する

■フルキーボードで文字を入力する

1 文字入力欄をタップ▶ [入力切替] ▶[しゃべってキー入力]

初回起動時はフルキーボードが表示されます。

- テンキーボードが表示されたら、[あA1]をロングタッチ▶[QWERTY]でフルキーボードに切り替えます。
- 文字を入力すると、予測変換候補が表示されます。
- [マイク]をタップすると、音声入力を利用できます。
- [シフト]をタップするたびに大文字／大文字固定／小文字を切り替えます。
- [削除]をタップすると、カーソルの左側にある文字が削除されます。
- [あA1]をタップするたびに英字／数字／ローマ字入力モードを切り替えます。
- [#?!]をタップすると、絵文字D／絵文字／記号／顔文字を入力できます。文字入力欄によって入力できる文字種が異なります。
- [#?!]をロングタッチすると、定型文などを利用できます。
- キーボードを閉じるには[閉じる]をタップします。

■テンキーボードで文字を入力する

1 **文字入力欄をタップ▶［入力切替］▶［しゃべってキー入力］**

(マイク)	あ 1 @	か 2 ABC	さ 3 DEF	削除
←	た 4 GHI	な 5 JKL	は 6 MNO	→
#?! (^^)	ま 7 PQRS	や 8 TUV	ら 9 WXYZ	スペース 変換
あA1	゛゜ 大↔小	わ 0 ー	、。	(検索)

- フルキーボードが表示されたら、［あA1］をロングタッチ▶［ケータイ］でテンキーボードに切り替えます。
- テンキーボードの文字入力方法には、目的の文字が表示されるまで文字入力キーを続けてタップする方法や、文字入力キーをタッチしたまま、目的の文字の方向にフリックする方法があります。
- 文字を入力すると、予測変換候補が表示されます。
- ［マイク］をタップすると、音声入力を利用できます。
- ［削除］をタップすると、カーソルの左側にある文字が削除されます。
- ［あA1］をタップするたびに英字／数字／かな入力モードを切り替えます。
- ［#?!］をタップすると、絵文字D／絵文字／記号／顔文字を入力できます。文字入力欄によって入力できる文字種が異なります。
- ［#?!］をロングタッチすると、定型文などを利用できます。
- キーボードを閉じるには［﹀］をタップします。

ロック／セキュリティ

- 各種暗証番号やロック機能の詳細については、「取扱説明書」アプリ（eトリセツ）をご覧ください。

PINコードを設定する

電源を入れたときにPINコードを入力するように設定します。

1 **ホーム画面▶︎◎▶︎[設定]▶︎[設定]▶︎[セキュリティ]▶︎[SIMカードロック設定]**

2 **[SIMカードをロック]▶︎PINコードを入力▶︎[OK]**

[SIMカードをロック]にチェックが付きます。

- [SIM PINの変更]からPINコードを変更できます。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

■PINロック解除コード（PUK）

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモminiUIMカードがロックされます。その場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。

画面ロックを設定する

電源を入れたあとやスリープモードを解除したあとの画面ロックを設定します。[フェイスアンロック][パターン][PIN][パスワード]に設定すると、本端末を他の人に使用されないようにロックできます。

1 **ホーム画面▶︎◎▶︎[設定]▶︎[設定]▶︎[セキュリティ]**

セキュリティの設定画面が表示されます。

2 **[画面のロック]▶︎画面ロックを選択▶︎画面に従って操作する**

- [なし]に設定すると、電源を入れたあとやスリープモードを解除したあとにロック画面は表示されません。
- [フェイスアンロック][パターン][PIN][パスワード]から設定を変更する場合は、設定済みの方法で認証を行ってから新しい画面ロックの設定を選択します。

初期設定

初期設定

お買い上げ後、はじめて本端末の電源を入れた場合は、画面の指示に従ってGoogleアカウントやGPSの位置情報の設定を行います。

1 **[開始]▶[アカウントを作成]**

- 初期設定実行中に機能バージョンアップの案内画面が表示されたときは、[OK]をタップし、ドコモサービスについての設定を行います。
- Androidが表示されている画面で表示されている言語をタップすると、使用する言語を変更できます。
- すでにGoogleアカウントをお持ちの場合は、[ログイン]をタップします。
- Googleアカウントを設定しない場合は、[今は設定しない]をタップします。

2 **Googleアカウントに登録する姓名を入力▶[次へ]**

3 **希望するユーザー名（@gmail.comの前の部分）を入力▶[次へ]**

4 **パスワードを入力▶確認のためパスワードを再入力▶[次へ]**

5 **予備のメールアドレス欄にすでにお持ちのメールアドレスを入力▶セキュリティ保護用の質問欄で質問を選択▶回答欄に任意の答えを入力▶[次へ]**

- パスワードをお忘れになった場合、Googleのホームページでセキュリティ保護用の質問に回答するか、予備のメールアドレスにパスワード再設定用のリンクを送信すればパスワードを再度設定できます。

6 **[Google+に参加する]▶[次へ]**

- Google+に参加しない場合は、[今は設定しない]をタップします。

7 **性別を選択▶Google利用規約などを確認▶[同意する]**

8 **図で表示されている文字を入力▶[次へ]**

9 **アプリケーション購入についての設定を行う▶[保存]**

- 設定しない場合は[スキップ]をタップします。

10 バックアップについての内容を確認▶[次へ]

11 位置情報についての内容を確認▶[次へ]

12 [完了]

Googleアカウント

Googleアカウントを設定すると、Google Playからのアプリケーションのダウンロードなどが可能となります。すでにGoogleアカウントをお持ちの場合は、既存のアカウントを本端末でご利用いただけます。

1 ホーム画面▶◎▶[設定]▶[設定]▶[アカウントと同期]

2 [アカウントを追加]▶[Google]▶[新しいアカウント]

- すでにGoogleアカウントをお持ちの場合は、[既存のアカウント]をタップします。

3 P.57「初期設定」手順2～9の操作を行う

4 同期するデータにチェックを付ける▶[次へ]

アクセスポイントを設定する

インターネットに接続するためのアクセスポイント（spモード、mopera U）は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。

- お買い上げ時には、通常使う接続先としてspモードが設定されています。ただし、契約内容によっては設定が異なる場合があります。

利用中のアクセスポイントを確認する

1 ホーム画面▶◎▶[設定]▶[設定]▶[その他...]

2 [モバイルネットワーク]▶[アクセスポイント名]

アクセスポイントを追加で設定する

- MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。

1 **ホーム画面▶ ▶[設定]▶[設定]▶[その他...]**

2 **[モバイルネットワーク]▶[アクセスポイント名]▶ ▶[新しいAPN]**

3 **[名前]▶作成するネットワークプロファイルの名前を入力▶[OK]**

4 **[APN]▶アクセスポイント名を入力▶[OK]**

5 **その他、通信事業者によって要求されている項目を入力▶**

- MCC、MNCの設定を変更して画面上に表示されなくなった場合は、初期設定にリセットするか、手動でアクセスポイントの設定を行ってください。

アクセスポイントが自動で切り替わらないようにする

[アクセスポイント切替抑止]にチェックを付けていると、設定中のアクセスポイントが自動で切り替わらないようになります。

- 意図しない料金の発生などを防ぐため、お買い上げ時はアクセスポイントが自動で切り替わらないように設定されています。設定を変更すると、アクセスポイントが自動で切り替わることがあるため、意図しない料金が発生したり、通信できなくなる場合がありますのでご注意ください。

1 **ホーム画面▶ ▶[設定]▶[設定]▶[その他...]**

2 **[モバイルネットワーク]▶[アクセスポイント切替抑止]にチェックを付ける**

- [アクセスポイント切替抑止]にチェックを付けていても、テザリングを有効にした場合や、ソフトウェア更新を行った場合は、アクセスポイントが自動で切り替わります。
- [アクセスポイント切替抑止]にチェックを付けている場合、アプリケーションによっては正常に動作しないことがあります。

アクセスポイントを初期化する

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 ホーム画面▶ ▶[設定]▶[設定]▶[その他...]

2 [モバイルネットワーク]▶[アクセスポイント名]▶ ▶[初期設定にリセット]

spモード

spモードはNTTドコモのスマートフォン向けISPです。インターネット接続に加え、ｉモードと同じメールアドレス（@docomo.ne.jp）を使ったメールサービスなどがご利用いただけます。spモードはお申し込みが必要な有料サービスです。spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

mopera U

mopera UはNTTドコモのISPです。mopera Uにお申し込みいただいたお客様は、簡単な設定でインターネットをご利用いただけます。mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。

mopera Uを設定する

1 ホーム画面▶ ▶[設定]▶[設定]▶[その他...]

2 [モバイルネットワーク]▶[アクセスポイント名]▶[mopera U（定額データプラン）]／[mopera U（スマートフォン定額）]／[mopera U設定]にチェックを付ける

お知らせ

- 「mopera U設定」は、mopera U設定用アクセスポイントです。mopera U設定用アクセスポイントをご利用いただくと、パケット通信料がかかりません。なお、初期設定画面および設定変更画面以外には接続できないのでご注意ください。mopera U設定の詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。
- 「mopera U（スマートフォン定額）」をご利用の場合、パケット定額サービスのご契約が必要です。mopera U（スマートフォン定額）の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 「mopera U（定額データプラン）」をご利用の場合、「定額データプラン」のご契約が必要です。mopera U（定額データプラン）の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

Eメール設定

一般のプロバイダが提供するメールアカウントを設定して、Eメールを利用できます。

- あらかじめご利用のサービスプロバイダから設定に必要な情報を入手してください。

1 ホーム画面▶ ▶[Google]▶[メール]

- メールアカウントが登録済みで、別のメールアカウントを追加したい場合は、メール一覧画面▶ ▶[設定]▶[アカウントを追加]をタップします。

2 メールアドレスとパスワードを入力▶[次へ]

3 画面に従って操作する

お知らせ

- メールアカウントの自動設定が完了しない場合、手順2で[手動セットアップ]をタップし、アカウント設定を手動で入力します。

SDカードバックアップ

microSDカード（別売）などの外部記録媒体を利用して、電話帳、spモードメール、メディアファイル、ブックマークなどのデータの移行やバックアップができます。

- SDカードバックアップについて詳しくは、SDカードバックアップ起動中に ▶[ヘルプ]をタップしてヘルプをご覧ください。

データをmicroSDカードにバックアップする

1 ホーム画面▶ ▶[基本機能]▶[SDカードバックアップ]

SDカードバックアップメニュー画面が表示されます。

2 [バックアップ]▶バックアップしたいデータにチェックを付ける▶[バックアップ開始]▶[OK]▶ドコモアプリパスワードを入力▶[OK]

選択したデータがmicroSDカードにバックアップされます。

データを端末に復元する

1 **SDカードバックアップメニュー画面▶[復元]**

2 **復元したいデータの種別の[選択]▶復元したいデータにチェックを付ける▶[選択]▶[追加]／[上書き]**

3 **[復元開始]▶[OK]▶ドコモアプリパスワードを入力▶[OK]**

選択したデータが本端末に復元されます。

Googleアカウントの連絡先をdocomoアカウントにコピーする

1 **SDカードバックアップメニュー画面▶[電話帳アカウントコピー]▶コピーしたいGoogleアカウントの[選択]**

2 **[上書き]／[追加]**

コピーした電話帳データがdocomoアカウントに保存されます。

お知らせ

- バックアップまたは復元中に端末のmicroSDカードを取り外さないでください。端末内のデータが破損する場合があります。
- 他の端末の電話帳項目名（電話番号など）が本端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、電話帳に登録可能な文字は端末ごとに異なるため、コピー先で削除されることがあります。
- 電話帳をmicroSDカードにバックアップする場合は、名前が登録されていないデータはコピーできません。
- 本端末のメモリ構成上、microSDカードが未挿入の場合、カメラで撮影した画像・動画などのデータは本端末のメモリに保存されます。本アプリケーションでは画像・動画などのデータのうち本端末のメモリに保存されているもののみバックアップされます。microSDカードに保存されているデータはバックアップされません。
- microSDカードの空き容量が不足していると、バックアップが実行できない場合があります。その場合は、microSDカードから不要なファイルを削除して容量を確保してください。
- 電池残量が不足していると、バックアップまたは復元が実行できない場合があります。その場合は、端末を充電後に再度バックアップまたは復元を行ってください。

Wi-Fi

本端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

1 **ホーム画面▶(アイコン)▶[設定]▶[設定]▶[Wi-Fi]**

2 **「Wi-Fi」をONにする**

検出されたWi-Fiネットワークのネットワーク名とセキュリティ設定（オープンネットワークまたはセキュリティで保護）がWi-Fiネットワークリストに表示されます。

- 手動でWi-Fiネットワークを登録する場合は、[ネットワークを追加]▶必要な情報を入力▶[保存]をタップします。
  セキュリティは[なし]／[WEP]／[WPA/WPA2 PSK]／[802.1x EAP]から選択します。

3 **Wi-Fiネットワークを選択**

- セキュリティで保護されたWi-Fiネットワークを選択した場合、パスワード（セキュリティキー）を入力し、[接続]をタップします。
- [パスワードを表示する]にチェックを付けると、入力中のパスワードが表示されます。
- [詳細オプションを表示]にチェックを付けると、詳細な設定を行うことができます。
- 接続中のWi-Fiネットワークを切断する場合は、Wi-Fiネットワークを選択して[切断]をタップします。

お知らせ

- Wi-Fi機能がONのときもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。Wi-Fiネットワークが切断されると、自動的に3Gネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままでご利用される場合は、パケット通信料が発生しますのでご注意ください。
- 圏外等でWi-Fiネットワークが切断された場合、圏内に戻ったあとの自動接続に時間がかかることがあります。
- アクセスポイントを選択して接続するときに誤ったパスワード（セキュリティキー）を入力した場合、[接続が制限されています]や[認証に問題]が表示されます。パスワード（セキュリティキー）をご確認ください。なお、正しいパスワード（セキュリティキー）を入力しても[接続が制限されています]と表示されるときは、正しいIPアドレスを取得できていない場合があります。電波状況をご確認の上、接続し直してください。

■WPSについて

アクセスポイントが「WPS」に対応しているときは、簡単な操作でアクセスポイントに接続できます。
WPSボタン方式で接続する場合は、手順3で[WPSボタン]▶[登録]をタップし、アクセスポイントのWPSボタンを押します。
WPS PINコード方式で接続する場合は、手順3で[詳細オプションを表示]にチェックを付けて「WPS」から[このデバイスのPIN]を選択し、端末に表示されたPINコードをアクセスポイントに入力します。

Wi-Fiテザリングを利用する

本端末をWi-Fiアクセスポイントとして利用することで、無線LAN対応のパソコンなどをインターネットに最大5台まで同時接続させることができます。

1 **ホーム画面▶ ▶[設定]▶[設定]▶[その他...]**

2 **[テザリング]▶[Wi-Fiテザリング]**

3 **[注意事項の詳細]▶内容を確認▶ ▶[OK]**

Wi-Fiテザリングが有効になります。

USBテザリングを利用する

microUSB接続ケーブル 01（別売）でUSB対応のパソコンなどを本端末と接続し、モデムとして利用することでインターネットに接続させることができます。

1 **端末とパソコンをmicroUSB接続ケーブルで接続する**

2 **ホーム画面▶ ▶[設定]▶[設定]▶[その他...]**

3 **[テザリング]▶[USBテザリング]**

4 **[注意事項の詳細]▶内容を確認▶ ▶[OK]**

USBテザリングが有効になります。

電話帳／メール／ウェブブラウザ

電話帳

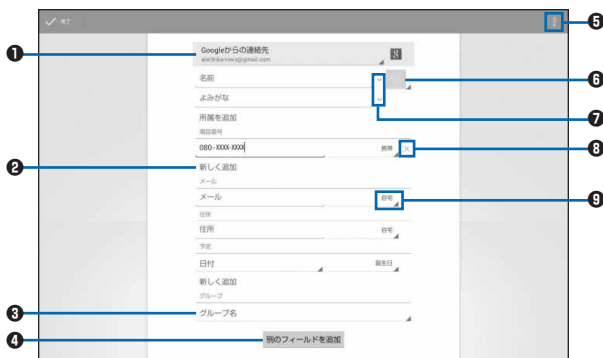
電話帳に登録する

電話帳には名前や電話番号、メールアドレスなどを登録できます。

1 **ホーム画面▶ ▶[基本機能]▶[ユーザー]▶[すべて]タブ**

- Googleアカウント未設定の場合は、[アカウントにログイン]▶[Google]をタップしてGoogleアカウントを設定します（☞P.58）。

2

- 初回登録時は連絡先を同期させるアカウントを確認または選択、追加します。

連絡先編集画面

❶ 複数のアカウントがある場合は、登録するアカウントを選択します。
❷ 電話番号、メール、住所の各項目に入力すると、[新しく追加]が表示されます。タップして入力欄を追加できます。
❸ グループを選択します。[新しいグループを作成]にチェックを付けると、同じアカウント内に新しいグループを作成できます。

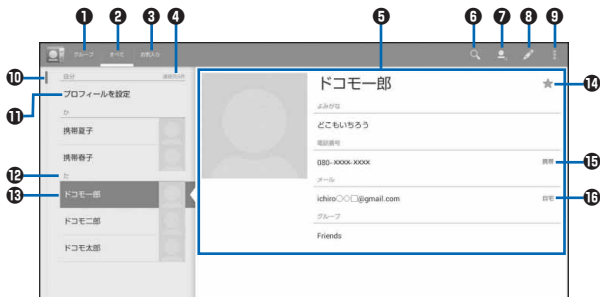
❹ メモやウェブサイトなど、表示されていない入力欄を追加できます。
❺ 別の連絡先と統合したり、統合した連絡先を分割できます。[破棄]をタップすると、編集内容を破棄して連絡先一覧画面に戻ります。
❻ 画像を登録します。
❼ 敬称やミドルネームを入力できます。
❽ 入力欄を削除します。
❾ ラベルを変更します。[カスタム]をタップすると、新しいラベルを作成できます。

3 必要な項目を入力

4 [完了]

お知らせ
- 登録した連絡先のバックアップ、復元については☞P.61

連絡先一覧画面の操作

1 ホーム画面▶︎[基本機能]▶︎[ユーザー]▶︎[すべて]タブ

連絡先一覧画面

❶ グループごとの連絡先を表示します。
❷ 連絡先一覧画面を表示します。
❸ お気に入りに登録した連絡先とよく使う連絡先を表示します。
❹ 連絡先の登録件数
❺ 選択した連絡先の情報が表示されます。

❻ 連絡先を検索します。[連絡先を検索]欄に名前や電話番号などを入力し、表示される候補の一覧から目的の連絡先をタップします。
❼ 連絡先を登録します（☞P.65）。
❽ 表示中の連絡先を編集します。
❾ メニューを表示します。
❿ インデックスバー
上下にスライドして目的のインデックスを見つけます。
⓫ タップして自分のプロフィールを入力します。
⓬ インデックス
⓭ 連絡先をタップして選択します。
⓮ お気に入りに登録（水色）／未登録（グレー）
⓯ メッセージ（SMS）を作成します。
⓰ メールを作成します。

spモードメール

ｉモードのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しています。

- spモードメールの詳細については、『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。

1 ホーム画面▶︎◉▶︎[基本機能]▶︎[spモードメール]

2 画面に従ってspモードメールをインストールする

メッセージ（SMS）

携帯電話番号を宛先にして、全角最大70文字（半角英数字のみの場合は、最大160文字）の文字メッセージを送受信できます。

メッセージ（SMS）を作成して送信する

1 ホーム画面▶︎◉▶︎[Google]▶︎[メッセージ]

2 [新規作成]▶︎[To]欄▶︎送信先の携帯電話番号を入力

3 [メッセージを入力]欄▶︎メッセージを入力

4 ➢

Eメール

mopera Uや一般のプロバイダが提供するメールアカウントを設定して、Eメールを利用できます。

- あらかじめアクセスポイント（☞P.58）、メールアカウント（☞P.61）を設定してください。

Eメールを作成して送信する

1 **ホーム画面▶️ ▶️[Google]▶️[メール]**

2

3 **[To]欄▶️メールアドレスを入力**

4 **[件名]欄▶️件名を入力**

5 **[メールを作成します]欄▶️メッセージを入力**

6 **[送信]**

お知らせ

- Eメールはパソコンからのメールとして扱われます。

Gmail

GoogleのオンラインEメールサービスです。本端末のGmailを使用して、Eメールの送受信ができます。

- あらかじめGoogleアカウント（☞P.58）を設定してください。

1 **ホーム画面▶️ ▶️[Google]▶️[Gmail]**

- Gmailの詳細については、Gmailの画面▶️ ▶️[ヘルプ]をご覧ください。

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。

- エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- spモードを契約しなくても、エリアメールの受信ができます。
- 最大50件保存できます。
- 下記のような場合は受信できません。※1
  - ・国際ローミング中
  - ・機内モード中
  - ・電源を入れたあとに表示されるPINコード入力画面表示中
  - ・圏外のとき
  - ・電源OFFのとき
- 下記のような場合は受信できないことがあります。※1※2
  - ・データ通信中
  - ・ソフトウェア更新中
  - ・USB接続で通信中
  - ・本端末のメモリ容量が少ないとき

※1 受信できなかったメッセージを再度受信することはできません。

※2 受信できた場合でも、内容は自動表示されません。

緊急速報「エリアメール」受信

エリアメールを受信すると、エリアメール専用の警告音でお知らせします。また、内容が自動的に表示されます。

- 警告音の音量は固定されており変更できません。
- お買い上げ時は、マナーモード中でも警告音が鳴ります。鳴らないように設定できます（☞P.70）。

受信したエリアメールを読む

1 **ホーム画面▶◎▶[基本機能]▶[エリアメール]**

受信エリアメール一覧画面が表示されます。

2 **読みたいエリアメールをタップ**

緊急速報「エリアメール」設定

エリアメールを受信するかどうかや、受信時の動作などを設定します。

1 **受信エリアメール一覧画面▶⋮▶[設定]▶以下の操作を行う**

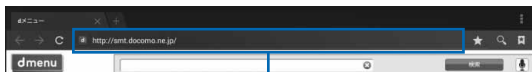
<table>
<tr><td colspan="2">受信設定</td><td>エリアメールを利用するかどうかを設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">着信音</td><td>マナーモード中にエリアメールを受信したとき、警告音を鳴らすかどうかや警告音が鳴る時間を設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">受信画面および着信音確認</td><td>緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報のエリアメールを受信したときの画面表示や着信音を確認できます。</td></tr>
<tr><td>その他の設定</td><td>受信登録</td><td>緊急地震速報などの他に受信したいエリアメールの登録／削除を行います。</td></tr>
</table>

ウェブブラウザ

ウェブブラウザを利用して、パソコンと同じようにウェブページを閲覧したり、Flashを再生することなどができます。
本端末では、パケット通信またはWi-Fiによる接続でウェブブラウザを利用できます。

ウェブブラウザを起動する

1 ホーム画面▶◉▶[Google]▶[ブラウザ]

ホームページが表示されます。

アドレスバー

2 アドレスバーにURLまたはキーワードを入力

- アドレスバーが表示されていない場合は、ウェブページを下にドラッグします。
- アドレスバーをタップしてから🎤をタップすると、音声検索ができます。

3 [実行]

- 候補リストから表示したいウェブページを選択しても検索できます。
- ウェブページ表示中に☆や★をタップすると、ブックマークや履歴などの機能を利用できます。

本体設定

設定メニュー

設定メニューを呼び出して、本端末の各種設定を行うことができます。

1 **ホーム画面▶⊖▶[設定]▶[設定]**

以下の設定を行うことができます。

■無線とネットワーク

Wi-Fi	Wi-FiのON／OFFの切り替え、Wi-Fiの設定を行います。
Bluetooth	Bluetooth機能のON／OFFの切り替え、Bluetooth機能の設定を行います。
データ使用	モバイルデータ通信使用量（目安）の確認や制限の設定を行います。
その他...	機内モードやテザリング、モバイルネットワークなどの設定を行います。

■端末

音	通知音や音量、マナーモードなどの設定を行います。
ディスプレイ	画面の自動回転や明るさ、フォントなどの設定を行います。
ストレージ	空き容量を確認したり、microSDカード内のデータを消去したりできます。
電池	電池の使用状況を確認できます。 • ⋮▶[電池性能]をタップすると電池の状況が表示されます。
アプリ	アプリケーションを削除したり、無効にしたりできます。

■ユーザー設定

ドコモサービス	ドコモの提供するアプリやドコモアプリパスワード、オートGPSなど、ドコモサービスに関する設定を行います。
アカウントと同期	アカウントの自動同期の設定やデータの同期などを行います。
位置情報サービス	GPSと位置情報についての設定を行います。
セキュリティ	画面ロック、パスワードなどセキュリティの設定を行います。
言語と入力	使用言語や文字入力に関する設定を行います。
バックアップとリセット	データのバックアップや初期化を行います。
メモリリフレッシュ	本端末のメモリ使用領域を自動的にリフレッシュします。

■システム

日付と時刻	日付や時刻の設定を行います。
ユーザー補助	大きい文字サイズやパスワードの音声出力など、ユーザー補助のための設定を行います。
開発者向けオプション	アプリケーションの開発に関する設定を行います。
タブレット情報	ソフトウェア更新を行ったり、本端末の各種情報を表示したりできます。

付録

トラブルシューティング（FAQ）

故障かな？と思ったら

- まずはじめにソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください（☞P.82）。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、本書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■電源

症状	チェックする箇所
端末の電源が入らない	• 電池切れになっていませんか（☞P.38）。 • 電池が劣化していませんか。 [電池性能]で電池の状態を確認してください（☞P.72）。

■充電

症状	チェックする箇所
充電ができない（充電ランプが点灯しない、またはステータスバーに温度異常／充電異常アイコンが表示される）	● アダプタの電源プラグやシガーライタープラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか（☞P.40）。 ● 付属のACアダプタのmicroUSBプラグが本端末または卓上ホルダと正しく接続されていますか（☞P.39、P.40）。 ● ACアダプタ 03（別売）をご使用の場合、microUSB接続ケーブルが、本端末またはACアダプタと正しく接続されていますか。 ● 卓上ホルダを使用する場合、端末の充電端子は汚れていませんか。汚れたときは、端子部分を乾いた綿棒などで拭いてください。 ● 本端末とパソコンをmicroUSB接続ケーブル 01（別売）で接続している場合、パソコンの電源が入っていますか。 ● 充電しながら通信、その他機能の操作を長時間行うと、端末の温度が上昇してステータスバーに温度異常アイコンが表示される場合があります。その場合は、端末を一度アダプタから外して、端末の温度が下がってから再度充電を開始してください。温度異常アイコンが表示されたときは、通知パネルを開いて表示された機能が使用できません。 ● ステータスバーに充電異常アイコンが表示されたときは、通知パネルを開き、対処方法に従って操作してください。

■端末操作

症状	チェックする箇所
操作中・充電中に熱くなる	● 操作中や充電中、また、充電しながらワンセグ視聴などを長時間行った場合などには、端末や内蔵電池、アダプタが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください（☞P.18、P.19）。
電池の使用時間が短い	● 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。 圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。 ● 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。 ● 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、本書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
タッチパネルをタップしたとき／ボタンを押したときに動作しない	● スリープモードになっていませんか。 ⏻を押してスリープモードを解除してください（☞P.42）。 ● 電源を入れ直してください（☞P.41）。
ドコモminiUIMカードが認識しない	● ドコモminiUIMカードを正しい向きで挿入していますか（☞P.34）。
時計がずれる	● 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。 [日付と時刻の自動設定]、[タイムゾーンを自動設定]にチェックが付いているかを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください（☞P.73）。

症状	チェックする箇所
端末動作が不安定	● ご購入後に端末へインストールしたアプリケーションによる可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリケーションをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。 ※セーフモードとはご購入時の状態に近い状態で起動させる機能です。 ● セーフモードの起動方法 電源がOFFの状態から⏻を2秒以上押し、ドコモのロゴが表示されたときからホーム画面が表示されるまで▭（音量小）を押し続けてください。 ※セーフモードが起動すると画面左下に「セーフモード」と表示されます。 ※セーフモードを終了するには、電源を一度OFFにし起動し直してください。 ● 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。 ● お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。 ● セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了しご利用ください。
端末が応答しない、または電源が入らない	● 外部接続端子にアダプタなどを接続していない状態で、⏻を20秒以上押し、電源が切れるか端末が再起動するまで押し続けてください。 電源が切れた場合は、再度電源を入れてください。 ● 一度充電をしてから電源を入れ直してください。
アプリケーションが正しく動作しない（起動できない、エラーが頻繁に起こるなど）	● 無効にしているアプリケーションはありませんか。無効にしているアプリケーションを有効にしてから再度お試しください（☞P.72）。

エラーメッセージ

エラーメッセージ	説明／対処方法
挿入されたSIMカードは、この携帯電話機では使用出来ません。有効なSIMカードを挿入してください。	• 他事業者のSIMカードが挿入された場合に表示されます。

スマートフォンあんしん遠隔サポート

お客様の端末上の画面をドコモと共有することで、端末操作や設定に関する操作サポートを受けることができます。

- ドコモminiUIMカード未挿入時、国際ローミング中、機内モードなどではご利用できません。
- スマートフォンあんしん遠隔サポートはお申し込みが必要な有料サービスです。
- 一部サポート対象外の操作・設定があります。
- スマートフォンあんしん遠隔サポートの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

1 スマートフォン遠隔サポートセンターへ電話

- スマートフォン遠隔サポートセンター
  0120-783-360
  受付時間 午前9:00～午後8:00（年中無休）

2 ホーム画面▶ ▶[設定]▶[遠隔サポート]

- はじめてご利用される際には、「ソフトウェア使用許諾書」に同意いただく必要があります。

3 ドコモからご案内する接続番号を入力

4 接続後、遠隔サポートを開始

端末初期化

本端末をお買い上げ時の状態に戻します。

- この操作を行うと、ご購入後に本端末にお客様がインストールしたアプリケーションや登録したデータは、一部を除きすべて削除されます。

1 **ホーム画面▶ ▶[設定]▶[設定]▶[バックアップとリセット]**

2 **[データの初期化]▶端末パスワードを入力▶[OK]**

3 **[タブレットをリセット]**

- [画面のロック]の設定で[パターン][PIN][パスワード]を設定している場合は、設定した解除方法を行います。
  [フェイスアンロック]を設定している場合は、予備の解除方法として設定したパターンまたはPINで認証します。

4 **[すべて消去]**

リセットが完了すると端末が再起動します。

保証とアフターサービス

保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名・お買い上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申しつけください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いします。

※ 本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカード（別売）に保存していただくことができます。

アフターサービスについて

調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください。
それでも調子がよくないときは、本書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（液晶・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■以下の場合は、修理できないことがあります。

- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子（イヤホンマイク端子）・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、本書裏面の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
  - ・火災・けが・故障の原因となります。
  - ・改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
    以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - 液晶部やボタン部にシールなどを貼る
    - 接着剤などにより本端末に装飾を施す
    - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - ・改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 本端末の背面に貼付されているバーコードシールは、はがさないでください。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  使用箇所：スピーカー
- 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェア更新

P-08Dのソフトウェア更新が必要かをネットワークに接続して確認し、必要に応じて更新ファイルをダウンロードして、ソフトウェアを更新する機能です。ソフトウェア更新が必要な場合には、ドコモのホームページにてご案内いたします。
更新方法は、次の3種類があります。

自動更新：更新ファイルを自動でダウンロードし、設定した時刻に書き換えます。
即時更新：今すぐ更新を行います。
予約更新：予約した時刻に自動的に更新をします。

お知らせ

- ソフトウェア更新は、本端末に登録した電話帳、カメラ画像、メール、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様の端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

ご利用にあたって

- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。更新時は充電ケーブルを接続することをおすすめします。
- 次の場合はソフトウェアを更新できません。
  - ・圏外が表示されているとき※
  - ・国際ローミング中※
  - ・機内モード中※
  - ・テザリングを有効にしているとき
  - ・OSバージョンアップ中
  - ・日付と時刻を正しく設定していないとき
  - ・ソフトウェア更新に必要な電池残量がないとき

  ※ 圏外、国際ローミング中は、Wi-Fi接続中であっても更新できません。
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかる場合があります。
- ソフトウェア更新中は、各種通信機能およびその他の機能を利用できません。
- ソフトウェア更新は電波状態の良い所で、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、ソフトウェア更新を中断することがあります。
- ソフトウェア更新が不要な場合は、[更新の必要はありません。このままお使いください]と表示されます。

- 国際ローミング中、もしくは、圏外にいるときには、[ドコモの電波が受信できない場所、またはローミング中はWi-Fi接続中であってもダウンロードを開始できません]と表示されます。Wi-Fi接続中も同様です。
- ソフトウェア更新中に送信されてきたメッセージ（SMS）は、SMSセンターに保管されます。
- ソフトウェア更新の際、お客様のP-08D固有の情報（機種や製造番号など）が、当社のソフトウェア更新用サーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合に、端末が起動しなくなることや、[ソフトウェア更新に失敗しました。お手数ですが、お近くのショップへお持ちください。]と表示され、一切の操作ができなくなることがあります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。
- PINコードが設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中で、PINコード入力画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- ソフトウェア更新中は、他のアプリケーションを起動しないでください。
- ソフトウェア書き換え後のキャリブレーション（調整）中にタッチパネルに触れると、正常にキャリブレーションが完了しない可能性があります。書き換え中はタッチパネルに触れないようにご注意ください。

ソフトウェアの自動更新

更新ファイルを自動でダウンロードし、設定した時刻に書き換えます。

ソフトウェアの自動更新設定

お買い上げ時は、自動更新の設定が[自動で更新を行う]に設定されています。

1 **ホーム画面▶◎▶[設定]▶[設定]▶[タブレット情報]**

2 **[ソフトウェア更新]▶[ソフトウェア更新設定の変更]**

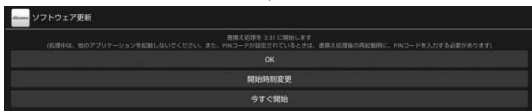
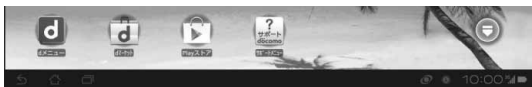
3 **[自動で更新を行う]／[自動で更新を行わない]**

ソフトウェア更新が必要になると

更新ファイルが自動でダウンロードされると、ステータスバーに（ソフトウェア更新有）が通知されます。

- （ソフトウェア更新有）が表示された状態で書き換え時刻になると、自動で書き換えが行われ、（ソフトウェア更新有）は消えます。

1 **通知パネルを開く▶通知をタップ**

書き換え時刻が表示されます。

2 **設定時刻に書き換えを行う場合**

[OK]

- ホーム画面に戻ります。設定時刻になると更新を開始します。

書き換え時刻を変更する場合

[開始時刻変更]

- 予約更新☞P.87「ソフトウェアの予約更新」

今すぐ書き換えを行う場合

[今すぐ開始]

- 即時更新☞P.85「ソフトウェアの即時更新」

お知らせ

- ソフトウェア書き換えが開始できなかった場合には、ステータスバーに（ソフトウェア更新有）が表示されます。
- 書き換え時刻にソフトウェア書き換えが実施できなかった場合、翌日の同じ時刻に再度書き換えを行います。
- 自動更新設定が、[自動で更新を行わない]の場合や、ソフトウェアの即時更新が通信中の場合は、ソフトウェアの自動更新ができません。

ソフトウェアの即時更新

すぐにソフトウェアを更新します。

- ソフトウェア更新を起動するには書き換え予告画面から起動する方法とメニューから起動する方法があります。

1 **ホーム画面▶ ▶[設定]▶[設定]▶[タブレット情報]**

2 **[ソフトウェア更新]▶[更新を開始する]▶[はい]**

書き換え予告画面から起動する場合

書き換え予告画面を表示▶[今すぐ開始]

3 **[ソフトウェア更新を開始します。]表示後、約10秒後に自動的に書き換え開始**

- [OK]をタップすると、すぐに書き換えを開始します。
- 更新中は、すべてのタッチ操作やボタン操作が無効となります。更新を中止することもできません。
- ソフトウェア更新が完了すると再起動がかかり、ホーム画面が表示されます。

お知らせ

- ソフトウェア更新の必要がないときには、[更新の必要はありません。このままお使いください]と表示されます。

ソフトウェア更新終了後の表示

ソフトウェア更新が完了すると、ステータスバーに通知されます。通知パネルを開いて通知をタップすると完了画面が表示されます。

ソフトウェアの予約更新

更新ファイルのインストールを別の時刻に予約したい場合は、ソフトウェア書き換えを行う時刻をあらかじめ設定しておくことができます。

1 **書き換え予告画面を表示▶[開始時刻変更]**

2 **時刻を入力▶[設定]**

予約した時刻になると

開始時刻になるとソフトウェア更新開始画面が表示され、約10秒後に自動的にソフトウェア書き換えが開始されます。

お知らせ

- 更新中は、すべてのタッチ操作やボタン操作が無効となります。更新を中止することもできません。
- 開始時刻にソフトウェア更新が開始できなかった場合には、翌日の同じ時刻にソフトウェア更新を行います。
- OSバージョンアップ中の場合、予約時刻になってもソフトウェア更新は行われません。
- 開始時刻と同じ時刻にアラームなどが設定されていた場合でも、ソフトウェア更新は実施されます。
- 開始時刻にP-08Dの電源がOFFの場合、電源を入れたあと、予約時刻と同じ時刻になったときにソフトウェア更新を行います。

機能バージョンアップを行う

1 ホーム画面▶ ▶[設定]▶[設定]▶[タブレット情報]

2 [機能バージョンアップ]▶[サーバーから更新]

3 [ソフトウェア更新]▶[はい]▶[はい]▶[今すぐ更新]

更新ファイルがダウンロードされます。

- [予約登録]を選択した場合は、ダウンロード開始時刻を設定し、[はい]をタップします。

4 通知パネルを開く▶通知をタップ

5 [今すぐ更新]

- 端末が再起動し、書き換えを開始します。
- 更新中は、すべてのタッチ操作やボタン操作が無効となります。更新を中止することもできません。
- 書き換えが完了すると再起動がかかり、ステータスバーに が表示されます。
- [あとで更新]を選択した場合は、更新する際に手順4～6を行います。

6 が表示されたら通知パネルを開く▶通知をタップ▶更新結果を確認▶[OK]

最新のソフトウェアを自動検索する

1 **ホーム画面▶ ▶[設定]▶[設定]▶[タブレット情報]**

2 **[機能バージョンアップ]▶[サーバーから更新]▶[設定]**

3 **[自動検索]にチェックを付ける▶[OK]**

お知らせ
- 自動検索には通信料がかかる場合があります。

本体ストレージから更新する

- あらかじめ新しいソフトウェアをパナソニックのサイトからダウンロードし、本体ストレージに保存してください。
  パソコンを使って新しいソフトウェアを入手する場合は、Windows Media Player 11以上に更新し、新しいソフトウェアを本体ストレージの「Download」フォルダに保存してください。

1 **ホーム画面▶ ▶[設定]▶[設定]▶[タブレット情報]**

2 **[機能バージョンアップ]▶[本体ストレージから更新]▶[OK]**

新しいソフトウェアを本体ストレージから検索します。

3 **[OK]**

- 端末が再起動し、書き換えを開始します。
- 更新中は、すべてのタッチ操作やボタン操作が無効となります。更新を中止することもできません。
- 書き換えが完了すると再起動がかかり、更新結果が表示されます。

4 **[OK]**

European RF Exposure Information

This tablet PC complies with the EU requirements for exposure to radio waves.
Your tablet PC is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 1.190 W/kg.**
While there may be differences between the SAR* levels of various tablet PCs and at various positions, they all meet* the EU requirements for RF exposure.**

* The exposure standard for tablet PC employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

** The SAR limit for tablet PC used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*** Tests for SAR have been conducted using standard operation positions with the device transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Accessories used for body worn operation must not contain metal. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the device while operating can be well below the maximum value. This is because the device is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

Declaration of Conformity

CE0168ⓘ

The product "P-08D" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2. The Declaration of Conformity can be found on http://panasonic.net/pmc/support/index.html.

Concerning European Economic Area: The use of Wi-Fi is restricted to only indoor use in France.

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules.
  Operation is subject to the following two conditions:
  1. This device may not cause harmful interference, and
  2. This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF Exposure Information

This model device meets the U.S. Government's requirements for exposure to radio waves.
This model device contains a radio transmitter and receiver. This model device is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy as set by the FCC of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.
The exposure standard for wireless tablet PC employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. Tests for SAR are conducted using standard operating positions as accepted by the FCC with the device transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the device while operating can be well below the maximum value. This is because the device is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the power output level of the device.
Before a tablet PC model is available for sale to the public, it must be tested and certified to prove to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, on body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model device as reported to the FCC, when on body (0mm separation distance), is 1.070 W/kg (measurements differ among device models, depending upon available accessories and FCC requirements).

While there may be differences between the SAR levels at various positions, they all meet the U.S. government requirements.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model device with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model device is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section at http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ after search on FCC ID UCE111050A.
For on body operation (0mm separation distance), this device has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Accessories used for on body operation must not contain metal, the use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

* In the United States, the SAR limit for wireless tablet PC used by the general public is 1.6 Watts/kg (W/kg) averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

Important Safety Information

Aircraft
Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers a 'flight mode' or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

Driving
Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

Hospitals
Tablet PC should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

Petrol Stations
Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

Interference
Care must be taken when using the device in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pacemakers
Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 22 cm be maintained between a tablet PC and a pacemaker to avoid potential interference with the pacemaker.
Hearing Aids
Some digital wireless devices may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.
Other Medical Devices
Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your wireless device may interfere with the operation of your medical device.
Accessories
With your wireless device, use the adapters specified by NTT DOCOMO, INC. Fire, burns, injury or electric shock may result.
Batteries
Do not dispose of the wireless device with other waste. The internal battery may catch fire or damage the environment. Take the unneeded wireless device to a handling counter such as a docomo Shop or dispose of it in accordance with local waste disposal regulations.

Handling Precautions

- When using the Wi-Fi, and/or Bluetooth functions abroad, check local laws and regulations regarding use of them beforehand.
- The excessive sound volume impairs your hearing.
- Be sure to check the security and safety of the application, then install it at your own risk. The data in your terminal may be damaged or infected with a virus. Installation may cause excessive sound volume.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また、米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権

著作権・肖像権

- お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得もしくは本製品に搭載された文章、画像、映像、音楽、ソフトウェアなどの著作物は著作権法により保護されています。従って、第三者が著作権を有する著作物は、私的使用目的の複製や引用など著作権法上で認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信、転用、頒布などすることはできません。
  実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。
- お客様は別途著作権者の許諾なく本製品に搭載されたソフトウェアの全部または一部を、複製もしくは改変、ハードウェアからの分離、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリングなどの行為を自らせずまたは第三者にさせないでください。またその利用を行わないでください。

商標

- 「FOMA」「ｉモード」「ｉアプリ」「デコメール®」「おまかせロック」「mopera」「mopera U」「エリアメール」「オートGPS」「spモード」「eトリセツ」「dメニュー」「dマーケット」はNTTドコモの商標または登録商標です。
- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。

- Windows Media®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- microSDロゴ、microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Bluetooth®とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- Wi-Fi、Wi-Fi DirectはWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- SRS TruMedia HDは、SRS Labs, Inc.の商標です。
  TruMedia HD技術は、SRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。

- DLNA®は、Digital Living Network Allianceの商標、サービスマーク、または認証マークです。
- 「ブルーレイディスク」「ブルーレイ」はブルーレイディスクアソシエーションの商標です。
- Google は Google Inc. の商標です。
- 「モバキャス」は、株式会社ジャパン・モバイルキャスティングの商標です。
- 「NOTTV」は、株式会社mmbiの商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

- Contains Adobe® Flash® Player by Adobe Systems Incorporated.

  Adobe and Flash are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries.
- MPEG Audio Layer-3 音声圧縮技術は、Fraunhofer IISおよびThomsonからライセンスを受けています。
- 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio License及びAVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
  ・画像情報をMPEG-4 Visual、AVC規格に準拠して（以下、MPEG-4/AVCビデオ）を記録すること。
  ・個人的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4/AVCビデオ、または、ライセンスをうけた提供者から入手したMPEG-4/AVCビデオを再生すること。
  詳細についてはMPEG LA, L.L.C. (http://www.mpegla.com)をご参照ください。
- 本製品は、InterDigital Technology社からのライセンスに基づき生産・販売されています。
- 本製品は、マイクロソフト社の知的財産権に係わる技術が含まれています。マイクロソフトからの適正なライセンスを得ずに、本製品以外でこの技術の使用もしくは頒布を行うことは禁止されています。

- コンテンツ権利者は、Microsoft PlayReady™ コンテンツアクセス技術によって、著作権で保護されたコンテンツを含む知的財産権を保護しています。本製品は、PlayReady技術を使用して、PlayReady及び／又はWMDRMにより保護されたコンテンツへのアクセスをします。本製品が、コンテンツ保護を適切に実施できない場合、当該コンテンツの権利者は、マイクロソフトに対し、PlayReadyによって保護されたコンテンツを使う本製品の機能の無効化を申し入れることができます。この無効化は、PlayReadyによって保護されていないコンテンツ及び他のコンテンツアクセス技術によって保護されているコンテンツに影響を与えてはなりません。コンテンツ権利者は、提供コンテンツにアクセスするためにPlayReadyのアップグレードを要求する場合があります。その場合、アップグレードを行わないと、当該提供コンテンツへのアクセスができなくなります。
- 本製品にはGNU General Public License(GPL v2), GNU Lesser General Public License(LGPL)その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPL v2またはLGPLに従い、複製、頒布及び改変することができます。
  本製品の引渡から少なくとも3年間、パナソニック モバイルコミュニケーションズ株式会社は以下の問い合わせ先にお問い合わせされた方に、配布に要する実費をご負担いただくことを条件として、機器による読取が可能なGPL v2／LGPLが適用されるソースコードの複製物を提供いたします。
  <お問い合わせ先>
  pmc-cs@gg.jp.panasonic.com
  また、ソースコードは以下のウェブサイト経由で入手することもできます。
  http://panasonic.jp/mobile/gpl/
  なお、ソースコードの内容等についてのご質問にはお答えしかねますので、予めご了承ください。携帯電話からのダウンロードは行えません。ダウンロードはお手持ちのパソコンをご利用ください。
  当該ソフトウェアに関する詳細（GPL v2／LGPLの各ライセンス文含む）は、ホーム画面▶︎▶︎[設定]▶︎[設定]▶︎[タブレット情報]▶︎[法的情報]の手順で確認することができます。

- 本製品には、上記の他、次のソフトウェアが含まれます。
  ・Apache License(v.2.0)の下で提供されるApache Software Foundationが開発したソフトウェア
  ・The Free Type Project Licenseの下で提供されるソフトウェア
  ・ICU License-ICU 1.8.1 and later
  Copyright © 1995-2011 International Business Machines Corporation and others
  ・Anti-Grain Geometry-Version 2.4
  Copyright © 2002-2005 Maxim Shemanarev (McSeem)
  ・MIT-License の下で提供されるソフトウェア
  ・The Independent JPEG Group によって開発されたソフトウェア
  これらのソフトウェアに関する詳細（ライセンス文含む）は、ホーム画面▶︎▶︎[設定]▶︎[設定]▶︎[タブレット情報]▶︎[法的情報]の手順で確認することができます。

Adobe® Flash® Playerのエンドユーザ・ライセンス契約

本製品にはAdobe Systems IncorporatedまたはAdobe Systems Software Ireland Limited（以下「Adobe」とする）から提供されている、Adobeまたはそのライセンサーが権利を有する以下のソフトウェア（以下「本ソフトウェア」とする）が含まれています。

- Adobe Flash® Player

本ソフトウェアの全部または一部を使用した場合は、特に以下の(a)から(f)に記載する制限を含む本契約上のすべての条件に同意したものと見なされます。本契約にお客様が同意した場合、本契約はお客様および本ソフトウェアを取得し、かつ自らの利益のために本ソフトウェアを使用する法人に対して強制力があり、本製品の提供者、Adobe、Adobeのライセンサーにより執行可能とします。
同意しない場合は、本ソフトウェアを使用しないでください。
(a) お客様は本ソフトウェアを配布およびコピーすることはできません。
(b) お客様は本ソフトウェアを修正、改変することはできません。
(c) お客様は本ソフトウェアをリバースエンジニアリングしたり、逆コンパイルしたり、逆アセンブルしてはならず、本ソフトウェアのソースコードを解明しようと試みないものとします。
(d) 本ソフトウェアは現状有姿にて提供されるものであり、明示的であると黙示的であるとを問わず、商品性の保証、特定目的適合性の保証、第三者権利非侵害の保証を含むがこれらに限られない、いかなる保証もないものとします。提供者、Adobe、Adobeのライセンサーは、当該損害の発生の可能性につき認識していた場合を含む、いかなる場合においても、損害、費用、派生損害、間接損害、付随的損害、特別損害、または利益の喪失につき、お客様に対して賠償する責を負わず、懲罰的損害賠償も行わないものとします。上記の制限および排除は、お客様の居住法域の法律により認められる範囲において適用されます。本契約に基づくまたは関連した損害賠償責任の総額は、本製品に対してお客様が支払われた金額があれば、その金額に制限されるも

のとします。
(e) 本ソフトウェアのバージョンによってはアクセスできないコンテンツがあります。
(f) 信用の連鎖を確立するために使用される証明書は無効とされ得るものであり、新しい証明書を含む本ソフトウェアのバージョンをインストール等しないとアクセスできないコンテンツがあります。

SIMロック解除

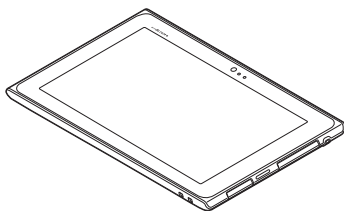
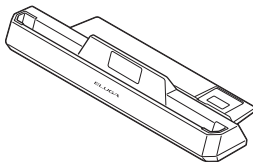
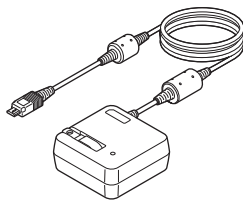
本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

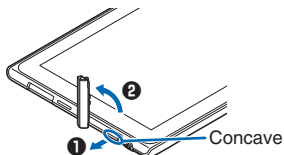
- SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、ご利用になれるサービス、機能などが制限されます。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

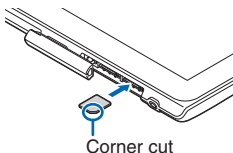
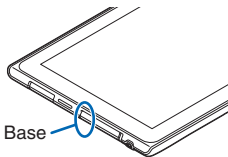
Quick Manual (English)

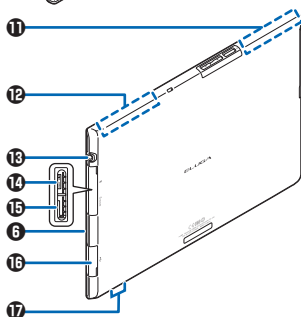
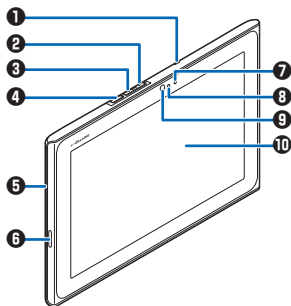
The P-08D is compatible with 3G and wireless LAN systems.
The latest information of this manual can be downloaded from the DOCOMO website.
Further, the detailed English manual can be downloaded from the following URL:
http://www.nttdocomo.co.jp/english/support/trouble/manual/download/index.html

Accessories

- P-08D (with warranty)
- Quick Start Guide (in Japanese)

- AC Adapter P01 (with warranty)
- Desktop Holder P50

Installation of docomo mini UIM card

1 **Hook your fingertip over the concave, pull out the card slot cover in direction ❶, and turn it in direction ❷**

2 **Insert the docomo mini UIM card into the docomo mini UIM card slot with the gold IC part facing down**

- Push the card until it clicks.

3 **Align the card slot cover in parallel with the terminal, and while holding its base firmly, push it into place**

4 **Ensure that no part is sticking out across the card slot cover**

Part Names

❶ Microphone
❷ Volume up key
❸ Volume down key
❹ Power key
❺ 1Seg/Mobacas antenna
❻ Speaker
❼ Notification/Charging indicator
❽ Light sensor
❾ Camera
❿ Display (Touch panel)
⓫ FOMA antenna
⓬ Wi-Fi/Bluetooth/GPS antenna
⓭ Earphone/microphone terminal
⓮ docomo mini UIM card slot
⓯ microSD card slot
⓰ Connector terminal
⓱ Charging terminal

Basic Operations

Power On/Off

■Power On

1 Press and hold ⏻ for at least two seconds

■Power Off

1 Press and hold ⏻ for at least one second

2 [OK]

Locking/Unlocking the screen

■Locking the screen

1 Press ⏻

■Unlocking the screen

1 Press ⏻ ▶ 🔒

Switching to English Display

1 Home screen ▶ ⊜ ▶ [設定] ▶ [設定] ▶ [言語と入力] ▶ [言語] ▶ [English (United States)]▶[はい]

Checking My Phone Number

1 Home screen ▶ ⊜ ▶ [設定] ▶ [Settings] ▶ [About tablet] ▶ [Status]

索引

ア

カ

サ

タ

ナ

ハ

マ

ラ

英数字

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。
spモードから　dメニュー▶「お客様サポートへ」▶「各種お申込・お手続き」（パケット通信料無料）
パソコンから　My docomo（http://www.mydocomo.com/）▶ 各種お申込・お手続き
※ spモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ spモードからご利用になる際は、一部有料となる場合があります。
※ パソコンからご利用になる場合、「docomo ID／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は、本書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■使用禁止の場所にいる場合

航空機内、病院内では、必ず本端末の電源を切ってください。
※医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

■運転中の場合

運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

本端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

●マナーモード
通知音・タッチ操作音など本端末から鳴る音を消します（☞P.72）。
※ただし、シャッター音、アラーム音は消せません。

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。
※回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際は、回収、リサイクルに出しましょう。

海外での紛失、盗難、精算などについて
＜ドコモ インフォメーションセンター＞（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 -81-3-6832-6600*（無料）

* 一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

一般電話などからの場合
＜ユニバーサルナンバー＞

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 -8000120-0151*

* 滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

- **紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。**

海外での故障について
＜ネットワークオペレーションセンター＞（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 -81-3-6718-1414*（無料）

* 一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

一般電話などからの場合
＜ユニバーサルナンバー＞

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 -8005931-8600*

* 滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

- **お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口にご持参ください。**

総合お問い合わせ先
<ドコモ インフォメーションセンター>

■ドコモの携帯電話からの場合
(局番なしの)151(無料)
※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合
0120-800-000
※一部のIP電話からは接続できない場合があります。
受付時間 午前9：00〜午後8：00(年中無休)

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合
(局番なしの)113(無料)
※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合
0120-800-000
※一部のIP電話からは接続できない場合があります。
受付時間 24時間(年中無休)

- 番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
- 各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/

マナーもいっしょに携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　パナソニック モバイルコミュニケーションズ株式会社

'12.8(第2版)
3TR100531BAA
A0712-2